

都市再生整備計画(第7回変更)

か も が わ し ゆ う へ ん ち く
加茂川周辺地区

に い が た け ん か も し
新潟県加茂市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	かみさし 加茂市	地区名	かみさし 加茂市周辺地区	面積	505 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

地域交流センターを開設して商店街の賑わいを取り戻し、細い道路網で過疎化の危機にある長い歴史をもった住宅地を救済するとともに、突然火災のため廃業した加茂市中心部の加茂市唯一の銭湯の役割をも果たすコミュニティーセンターを開設し、北越の小京都にふさわしい伝統工芸を生かしたまちを創造すると共に、加茂市民福祉交流センター「加茂美人の湯」温泉井戸の新たな増堀により井戸の新生を図り湯量を復活させ利用客の増大を図ると共に、商店街の表玄関であるJR越後本線加茂駅からの無料送迎シャトルバス、市民バスを活用した商店街立ち寄りコースを設定し、温泉と商店街が一体となって発展するまちづくりを目指す。

①商店街の集客に不可欠である地域交流センターを開設し、中心商店街の賑わいを取り戻す。
 ②地域交流センターの1階は、食料品のスーパーストアとし、2階の一部及び食料品スーパーストアの前面は、コミュニティーセンターとする。
 ③長い歴史をもった住宅地に利便性の高い幹線道路を整備し、交通、防災、都市環境の改善を図るとともに回遊性の高いまちづくりを実現する。
 ④北越の小京都加茂の歴史、街並み(商店街)と伝統工芸産業を融合させた観光探訪コースを設定し、賑わいとやすらぎのまち加茂を創出する。
 ⑤スポーツ振興の充実と発展を図り、教育、文化活動が盛んなまちを目指す。
 ⑥加茂市民福祉交流センター「加茂美人の湯」温泉井戸の新たな増堀により井戸の新生を図り湯量を復活させ利用客の増大を図ると共に、無料シャトルバスの商店街立ち寄りコースを設定し、温泉と商店街が一体となって発展するまちづくりを目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現状
 当市は三方を山で囲まれ、加茂川の清流に沿って市街地が発達しており、その自然・風土・街の風情から古くより「北越の小京都」と呼ばれている。また「桐箆節」といえば加茂と言われるほど、その技術と品質は全国的に高い評価を受けており、日本一の産地となっているほか、屏風・建具は当市の伝統工芸品として、広く全国に知られているところである。また平成17年6月には伝統工芸産業の桐を中心とした加茂木工ブランドの海外市場販路確立プロジェクト(JAPANブランド)が認定され(所管:中小企業庁)、市、商工会議所を中心に、意欲ある小規模事業者が核となり、またそれぞれの事業者が属する加茂箆節協同組合、加茂和洋家具協同組合、加茂建具協同組合、加茂屏風組合等の関係業界のサポートにより、同プロジェクトの推進が図られようとしている。

当加茂川周辺地区は、古くからの当市の中心地区であり、その骨格には加茂川の清流と江戸時代から続く商店街を持ち、長い歴史の中で文化や伝統を育み、商業、業務、居住等の都市機能を培ってきた「町の顔」とも言うべき地域である。従来の商店街は、全国で壊滅的打撃を受けつつあるが、加茂市においては、郊外型大型店の抑制を図りつつ、手厚く商店街を保護し、商店街街路拡幅・近代化事業を推進して来た結果、加茂市においては、商店街が健在である。商店街街路拡幅・近代化事業は現在五番町で推進中であるが、平成13年に五番町商店街の集客の中心であった大型店「まるよし五番町店」が倒産により閉店して以来、客足は急激に減ってしまった。同じ場所での大型店の再開は、緊急の課題である。一方五番町商店街の山側に広がる根古屋地区は、長い歴史を持つ閑静な住宅地であるが、道路が狭いという欠陥があり、過疎化の危機にさらされており、広い道路である根古屋中央線を早急に貫通させる必要がある。また、加茂川周辺地区は、古くからのまち並みを多く残す密集市街地であるため、都市防災機能が不十分な状況にあり、焼畑の危険性が高い地区でもある(S63、H11、H15、H17年に出火)。こうしたなか、当該地区において平成18年1月23日に火災が発生し、市街地唯一の銭湯が焼失し廃業、これにともない、市街地における浴場が無くなった。このため、特に風呂を持たない多数の人々が窮地に陥ることとなった。

当地区にある商店街は「加茂地域商業近代化計画」等により、街路拡幅事業に併せて近代的な統一アーケード整備事業に着手し、駅前から上町までは既に完了し、現在は五番町において拡幅事業が着手されている。同時に商店街全体のコンセプトに「小京都」を設定し、賑わいと魅力ある商店街の復興に向けて加茂市土産物センター・インフォメーションセンターの設置、バーチャルタウン構築、一店逸品の開発、ながいきストリート構想の推進等の様々な取り組みがされているところである。そして、さらに商店街を核とし隣接する観光資源への回遊性、及び周辺居住環境へその効果を一層広げること、加茂山公園、若宮公園や加茂川並びに河川敷公園、及び路地に流れる水路の清流や、昔ながらの風情ある町並みと歴史的価値の高い建造物の活用をさらに進めることを目指している。それには当市の伝統工芸品を核とし、風情ある水路や昔ながらの町並みを生かしながら観光交流人口をさらに増大し、安全で快適な、暮らしてよし、訪れてよしの観光振興と一体となったまちづくりを進めたい必要がある。それとともに中心市街地への日常的な来街人口を増やすため、市内各所に点在する各種の市民活動の場を中心市街地に集約することが課題ともなっている。

さらに銭湯が焼失・廃業したため、浴場を有するコミュニティーセンターの開設が緊急の課題となった。
 また、2009年に開催される新潟国体の体操強化選手10名のうち県央加茂地区で半数を占めているが、ピットを持つ施設は県内でもわずか2ヶ所しかなく、新潟県体協協会、県央周辺圏域を始め加茂市体操クラブ等からピットを持つ体操施設の整備が強く求められている。そのため当市としても、その期待と地元選手の育成にこたえるために総合体育センター内に同種の施設整備を検討している。

加茂川の清流は、奥早出・粟・守門県立自然公園の中心となす名峰峯ヶ岳を源に、その流域は風光明媚で自然豊かな地域である。この自然豊かな地域において、平成14年11月、加茂市民福祉交流センター「加茂美人の湯」を開設した。開設時の平成15年度は、約210,000人の入館となった。温泉の濃度が高く、平成15年1月以降温泉の湯湯量が減少し井戸清掃工事等を繰り返して来たが、温泉井戸の復元が出来ず平成19年度の入館者は約120,000人となった。こうした状況化を打開するため、この温泉井戸の新たな増堀により井戸の新生を図り湯量を復活させ利用客の増大を図ると共に、商店街の表玄関であるJR越後本線加茂駅からの無料送迎シャトルバス、市民バスを活用して商店街立ち寄りコースを設定し、温泉と商店街が一体となって発展するまちづくりを目指す。

課題

- ・商店街の活性化(賑わいの再生)と浴場を有するコミュニティーセンターの開設。
- ・根古屋住宅地区における過疎化の危機の救済。
- ・伝統工芸産業を核とし観光と融合させた拠点施設の整備。
- ・各種市民活動施設の中心市街地への集約。
- ・密集市街地における都市防災機能の向上。
- ・総合体育センターの充実と発展。
- ・歴史的建造物の保存による観光施設整備。
- ・加茂市民福祉交流センター「加茂美人の湯」温泉井戸の新たな増堀。

将来ビジョン(中長期)

【将来都市像】

第2次加茂市総合計画で掲げる当市の将来像は、「1.自然に恵まれ潤いとゆりのあるまち」2.各分野の産業が一体となって発展するまち」3.教育環境が充実し文化活動が盛んなまち」4.健康で温かい心のかいあうまち」5.安全で快適な暮らしのまち」である。また、同計画における当地区内の中心市街地の整備として「市民生活の快適性・安全性の確保」地域の特性を生かした潤いのある街並みの確保」市外からの来訪者にとっても魅力あるまちづくり」が挙げられている。

【まちづくりへ向けた今後の構想】

市、商工会議所、商店街組合で平成2年に策定した加茂地域商業近代化地域計画に基づき、商店街近代化事業を実施(5商店街完了)しながら、加茂市土産物センター・インフォメーションセンターの設置、仮想商店街(バーチャルタウン)構想、一店逸品の開発、ながいきストリート構想を推進してきたところである。
 今回、まちづくり交付金事業により商店街の核となる地域交流センターを開設することで、五番町商店街を壊滅から救い、風呂を持たない多数の人々をはじめ、加茂市唯一の銭湯を利用した人々を救済し、福祉環境を向上し、当市が目指す伝統産業と観光を融合させ、今後は、商店街拡幅近代化事業をさらに新町へと進め、古い街並みの保存等も行いながら「北越の小京都」のレベルをさらに高めていきたい。また、広い道路「根古屋中央線」を建設することにより、根古屋住宅地区を過疎化から救い、住みよい「北越の小京都」を充実させると共に総合体育センターの施設整備を進め、観光文化交流都市として大きく前進することができる。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値	
				従前値	目標年度
地域交流センター利用者数	人/年	地域交流センターの利用者数	地域住民の浴場及び各種活動への利用者数の増加 当地区への観光を伴う来街客の増加	0	平成17年
五番町商店街販売額比率	%	五番町商店街販売額が商店街全体販売額に占める比率	核店舗の創出による五番町商店街の活性。同商店街への来街人口の増加を表す	10	平成16年
JR加茂駅乗降客数(定期以外)	人/年	JR加茂駅乗降客数のうち、定期以外の乗降客数	当地区への観光を伴う来街客の増加	226,000	平成16年
密集市街地幹線道路(都市計画道路根古屋中央線)	ha	密集市街地の生活環境、都市防災機能の確立	密集市街地の生活環境の改善	0	平成17年
防火水槽設置数	箇所	密集市街地における防火水槽設置箇所数	都市防災機能の向上	9	平成17年
総合体育センター利用者数	人/年	総合体育センター利用者数	スポーツ交流人口の増大	46,000	平成16年
加茂市民福祉交流センター「加茂美人の湯」入館者数	人/年	市民福祉交流センター利用者数	入館者数の増大	120,000	平成19年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>地域交流センターを核とした観光交流拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模空店舗を活用し、地域交流を核とした観光拠点を整備することにより、伝統産業と観光の融合を図り、地域内外からの交流人口の増加を目指す。 ・当市伝統産業のさらなる躍進と関連新企業等(JAPANブランド)の創出拠点をめざす(伝統工芸産業「JAPANブランド」の販売情報戦略拠点化)。 ・地域交流センターに市民交流センターを開設し、多目的大ホール・中ホール(各種集会・交流及び伝統工芸品展示、伝統工芸品製作体験、美術品・美術作品展示、博物・民俗資料展示の開催)、ボランティア団体作業室を整備する。 ・市街地で唯一の浴場が平成18年1月23日の密集住宅地の火災で類焼し廃業したことから、地域交流センターに広く市民が利用できる浴場を備えたコミュニティセンターを開設し、浴場、休憩室等を整備する。 <p>利便性、及び回遊性の向上等による魅力ある商店街の再生と利便性のある市街地買物環境空間(観光交流空間)の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模空店舗を活用し、周辺住民から要望の高い大型スーパーマーケット(食料品)を誘致し、五番町商店街近代化事業への側面支援を行い、当地区の一方の軸である中心商店街の活性化を図る ・同じく隣接して駐車場を整備、来街客への利便性を向上させるとともに路上駐車量の軽減を図り円滑な交通を確保する。 ・公衆トイレを整備し、来街客や観光客の回遊性、滞留性を高める。 ・商店街の中心に多目的に利用できる安全で快適な広場空間を整備して、商店街の賑わいを取り戻す。 ・加茂市市民福祉交流センター「加茂美人の湯」温泉井戸の新たな増堀により井戸の新生を図り湯量を復活させ利用客の増大を図り、無料シャトルバスの商店街立ち寄りコースを設定し、温泉と商店街が一体となって発展するまちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模空店舗再生事業その1(基幹事業) (2F:市民交流センター・多目的大ホール・中ホール(各種集会・交流及び伝統工芸品展示、伝統工芸品製作体験、美術品・美術作品展示、博物・民俗資料展示の開催)、ボランティア団体作業室等 ・北越の小京都まちおこし道づくり事業その1:伝統工芸・タンス匠の技見学・製作体験・販売コース(提案事業) ・伝統工芸PR事業(提案事業) ・駐車場整備事業(基幹事業) ・公衆トイレ整備事業(基幹事業) ・浴場を有するコミュニティセンター整備事業 1F浴場、2F休憩室(提案事業) ・大規模空店舗再生事業その2(提案事業) (1F:大型スーパーマーケット(食料品)、商店街事務室) ・広場(多目的広場)整備事業(基幹事業) ・加茂市市民福祉交流センター「加茂美人の湯」再生事業(提案事業) ・加茂市市民福祉交流センター「加茂美人の湯」無料送迎シャトルバス運行事業(関連事業) ・加茂市営市民バス運行事業(関連事業)
<p>根古屋中央線の開設により、細い道路網で過疎化の危機にある長い歴史をもった住宅地を救済し、都市防災機能を確立し、快適な歩行者空間を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密集市街地に幹線道路を新設することにより地区内アクセス道路の交通改善と都市生活環境の改善を図る。 ・新設道路の歩道と一体化した広場を整備し快適な歩行者空間の創出を図る。 ・木造の多い密集市街地の防災機能をさらに向上させるため片側に1.5mの停車帯を確保する。また、五番町川手地区及び山手地区に耐震性防火水槽を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根古屋中央線街路事業(広場整備事業含む)(基幹事業) ・宮寄上加茂線街路事業(関連事業) ・耐震性防火水槽整備事業(基幹事業)
<p>商店街、加茂川を中心とし、歴史的な風情を残す町並みを活用した周遊コースを設定し、観光及び生活空間としての魅力度を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北越の小京都まちおこし道づくり事業において、北越の小京都加茂市の神社・仏閣・商店・一店逸品、伝統工芸・タンス匠の技見学・製作体験、市街地自然ふれあい・やすらぎ・加茂川探訪などの観光見学コースを設定する。 ・歴史的価値のある、「旧蒲原鉄道機関車」を保存し、観光見学コースの充実を図る。 ・加茂市市民福祉交流センター「加茂美人の湯」温泉井戸の新たな増堀により井戸の新生を図り湯量を復活させ利用客の増大を図り、無料シャトルバスの商店街立ち寄りコースを設定し、温泉と商店街が一体となって発展するまちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北越の小京都まちおこし道づくり事業その2:北越の小京都神社・仏閣・商店・一店逸品探訪コース(提案事業) ・北越の小京都まちおこし道づくり事業その3:市街地自然ふれあい・やすらぎ・加茂川探訪コース(提案事業) ・4.9の市拡大支援振興事業(提案事業) ・五番町商店街近代化促進事業(関連事業) ・旧蒲原鉄道機関車保存事業(提案事業) ・加茂市市民福祉交流センター「加茂美人の湯」再生事業(提案事業) ・加茂市市民福祉交流センター「加茂美人の湯」無料送迎シャトルバス運行事業(関連事業) ・加茂市営市民バス運行事業(関連事業)
<p>県央周辺圏域の利用が見込める施設を整備することによるスポーツ交流人口の創出と教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育センター施設にピットを有する体操トレーニングセンターを整備し、県央周辺圏域の体操少年、少女の利用を促し、スポーツ交流人口の増大を図る。 ・幹線(アクセス)道路を整備し、総合体育センター施設のスポーツ教育環境の充実と利用者の利便向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育センター整備事業(提案事業) ・千刈駒岡線道路整備事業(基幹事業)
<p>その他</p> <p>当市の中心である本地区では、まちづくり及び当市の歴史伝承継承の観点から以下の様々な取り組みがなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五番町商店街近代化促進事業 ・ながいきストリート川柳の募集表示事業 ・青海神社大みこし行列・乳母行列まちおこし事業 ・長瀬神社六角みこし行列まちおこし事業 ・雪椿まつり事業 ・越後加茂川夏祭り事業 ・北越の小京都歴史的まち並み景観保存事業(予定) <p>また、以下の取り組みがなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加茂市土産物センター・インフォメーションセンターの設置 ・バーチャルタウン構築 ・一店逸品の開発 ・ながいきストリート構想 	

